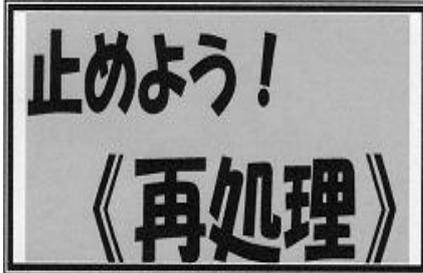


三陸の海を放射能から守る
岩手の会 (略称) **三陸の海・岩手の会**
 郵便振替 02240-5-102650
 ホームページ 《再処理/岩手の環境》
<http://sanriku.my.coocan.jp/>
 《本紙の全バックナンバー掲載》



《**天恵の海**》
 2017(平成 29)年
 9月17日
 第182号
 編集事務局 S.Oshida
 TEL・FAX 019-623-1636

3.11で被災し、39年の老朽化原発… 超危険! 東海第二原発を再稼働させるな!



ゲストスピーカー 鎌田慧氏 報告



八月二十六日(土)茨城県東海村において、日本原子力発電(株)東海第二原発再稼働阻止『原発いらない 茨城アクション』が開催されました。当会からは、共に再処理工場撤退を闘ってきた茨城の仲間らに連帯するために、二人の会員が参加しました。翌二七日が茨城県知事選挙投票日という選挙戦のさ中、集会には茨城県内外から約一千百人の市民が結集しました。残暑の中、岩手の仲間の声を代表し、稼働阻止集会ならびに原発包囲人間の鎖の輪に加わり、こんな危険な原発は絶対に動かすべきではないと懸命にアピールしてきました。

蝉時雨の 阿漕ヶ浦市民集会

「二〇年延長」の審査の結論は「不適切」が当然

小川仙月集會実行委員長

茨城アクション・人間の鎖集會に結集ありがとうございます。東海村には既に廃炉作業に入った東海原発と、稼働出来ることされる東海第二原発があります。この「東海第二」は六年前の大震災では、地震と津波に襲われ大事故を起こす寸前でした。当然二、一以来停止中でしたが、日本原子力発電は何と二〇一四年五月、原子



「止めよう!再処理」
岩手の会の横断幕

力規制委員会に「原発再稼働適合審査申請書」を提出しました。老朽化ししかも震災で被災した原発ですから審査は「不適」と結論すべきです。しかし規制委員会はいままで「不燃ケープル問題」について「適合」と結論づけ、現在は「津波防壁問題」を残すのみとしています。来年一月には第二原発は稼働四十年となり、本年中に「二十年延長の適合審査」に合格しないと、廃炉決定になります。日本原子力発電は八月二十八日から十一月二十八日まで「稼働二〇年延長申請書」を原子力規制委員会に提出しなければ廃炉が決定します。この古く傷だらけの原発の再稼働は大変危険です。大事故から住民を守るために、廃炉に

持ち込みましょう。
「ヒバクシャの声」を
黙殺する安倍内閣

鎌田慧氏ゲストスピーカー

東海村はかつて「日本の原子力の夢の地」でした。しかし、今は廃炉にすべき時代に入りました。一九九九年JCOの臨界事故により二人の悲惨な犠牲者を出し、本年六月にも大洗の原子力研究機関で深刻な被曝事故がありました。原子力は悲惨な事故が避けられず、世界の大勢は、自然エネルギーこそが向かうべきエネルギーであるとしています。三、一以後、「経済成長よりも生命を守れ!」という声があります。大きくなっているのに、その意味を理解しようとしていない「安倍政治にNO!」の声が全国に湧き起こっています。脱原発は、ドイツ、イタリア、台湾、韓国へと広がり、核兵器の禁止条約は日本の「ヒバクシャ」の声を受けとめ成立しました。

安倍内閣は、この国内外の脱原発・非核平和の動きに目をつむり、反対に、日本国憲法の平和

再稼働阻止全国ネット 東京からバスで参加

8.26 東海第二原発再稼働阻止行動に東京からバス2台で市民が駆け付けました。東京圏市民と大飯、伊方、川内、浜岡原発など稼働阻止を闘う市民が交流しながら行動し、現地を見ました。その様子は下記Uチューブで放映されています。ぜひご覧ください。

◇20170826UPLAN 東海第二原発ヒューマンチェーンに参加しよう！
https://www.youtube.com/watch?v=1_E5glmeafs



目先の利益で原発再稼働、それで良いのか
脱原発をめざす首長会議
村上達也前東海村長

目先の利益のみで原発を再稼働させようとする、権力を持つ人々に怒りを覚えます。東海第二原発を動かすには、約二〇〇〇億円が必要と報ぜられています。茨

主義、国民の生存権を実質的に形骸化させる「改憲」の政策を始めます。長い長い闘いを進めてきた東海第二原発反対裁判闘争の歴史を思い起こし、この茨城から「原発廃炉」を闘い取りましょう。



人間の鎖 成功!

集会では、この他「原発いらない福島的女性達の代表と地元東海村育ちの住民が原発再稼働反対を訴えました。」

城だけで二〇〇万人が避難民となると言われ、風向きによっては首都圏も危ないのです。このような危険な原発を動かすのではなく、「生命輝く茨城」を実現させる候補を茨城県知事にするために、頑張ろうではありませんか。

もった 第二原発 危うか



東海第二原発
(奥は廃炉中の東海原発)



日本原電フェンス
道路からは樹木に遮られ
原発は見えませんでした。

東海村の核施設も
東日本大震災で被害を受けた!

東海第二原発は二〇一一年三月一日の地震では外部電源途絶に見舞われ、さらに最高五・四メートルの津波に襲われ、六・一メートルの防潮壁を完成していたのですが結局浸水し、ディーゼル発電機が一基停止し、残る二基が辛くも持ちこたえ電源を維持しました。

東海第二原発の 津波被災の様子

◎3・11大震災で東海第二原発は、緊急停止し、压力容器内の圧力が急激に上昇し、水位が一時1m下がり圧力逃し弁の開閉を一七〇回行うなどして、冷温停止になるまで3日半(通常一日ほど)かかるという異常停止をしました。「問題ない」としていますがこの

東海第二原発は「ストレス」として残ります。◎炉心を囲むシユラウドのサポート部分に3・11前に四一カ所の亀裂があると公表していました。震災後、亀裂は増えたのか公表していません。◎制御棒(原子炉を動かしたり止めたりするもの)ガイドローラ破損は今まで二回ありました。これが壊れると制御棒が動かなくなることがあります。◎压力容器などの脆化《ぜいか》(放射線により金属などがガラスのように割れやすくなること)の進行をチェックする試験片の残りが一セットしかありませんでした。3・11前まで三回チェックしましたが、四回目のチェックは二〇一四年で、一九九八年以来一六年ぶ

再処理工場も 非常電源で 危機対処



日本原子力研究
開発機構正門前で

撤退が決定したとはいえず東海再処理工場は東海第二原発から海岸沿い南約三キロにあります。工場内には今でも約三九〇立方メートルの「高レベル放射性廃液」が、ガラス固化出来ないうまま貯蔵されています。冷却や掃気の電源喪失で、蒸発乾固や水素ガス発生で、爆発の恐れがあります。苛酷事故の危険があります。

高レベル放射性廃液は 大丈夫だったか?

東海再処理工場も地震により停電となり、非常電源七基が立ち上がりました。約五・六メートルの津波

りでした。本来装備の試験片はもうありません。◎原発の電気ケーブルの大半は非難燃性ケーブルです。経年劣化が進むと漏電などにより機器の操作不能や誤動作多発の要因になります。三九年の金属疲労蓄積の上に再稼働すれば日増しに危険性が増大して行きます。

膨大な負担額

新聞記事から
◆「東電、原発の債務保証検討 原発の安全対策に二〇〇〇億円超」
朝日新聞八月二五日
◆「東海村・再処理工場廃止に70年一兆円 国民負担さらに増」
東京新聞七月一日

「原子力」発祥の地、茨城県東海村は自然豊かな良いところでした。しかし「原子力」は危険な放射性廃棄物を大量に残し、核施設の後始末のための莫大な負債を残しました。この負担は確実に日本の経済を蝕んで行くでしょう。(尚)